

なごし はらえ みなづき
【夏越の祓と、水無月ういろうについて】

- 夏越の祓とは、一年の折返しにあたる6月30日に各地の神社で行われる季節の行事です。(6月30日に行われる「夏越の祓」と、12月の大晦日に行われる「年越の祓」の2つがあります。)
- 夏越の祓では、1月～6月までの半年分の穢れを落とし、残りの半年の無病息災を祈願します。
- 夏越の祓には、「茅の輪くぐり(ちのわくぐり)」と「人形流し」の2つの特徴的な行事が行われます。



※イメージ画像

- 水無月ういろう
冷房も冷蔵庫もない時代には、氷は貴重な物であり、庶民では簡単に手にいれることができませんでした。
夏越の祓には、白いういろうを氷に見立て、邪気を祓うとされる小豆をのせた水無月ういろうが食べられていました。(三角形にカットすることで、氷に見立てたという説もあります。)

- 桃太郎製菓では、竿物の「本くず上りういろう・水無月」、宇治抹茶を加えた「本くず上りういろう・抹茶水無月」、ハーフサイズの「本くず上りういろう・水無月(小)」、「本くず上りういろう・抹茶水無月(小)」、ハーフサイズ2個入りの「本くず上りういろう・水無月抹茶水無月 2個セット」等、水無月ういろうを各種取り揃えております。
お好みの形、サイズに切ってお召し上がりください。



※盛り付けイメージ